

令和元年度

木祖村教育委員会点検・評価報告書

木祖村教育委員会

## 令和元年度 木祖村教育委員会点検・評価報告書

1	教育委員会関係	3
	(1)教育委員会の開催	3
	(2)教育委員関係会議・研修等	3
	(3)教育委員会開催経過及び協議事項等	4
	(4)教育委員会関係事業・会議・研修等	6
2	学校教育関係	8
	(1)学級編成、児童生徒の状況	8
	(2)通学対策	9
	(3)就学援助費	9
	(4)学校給食	9
	(5)教員住宅	9
3	社会教育、公民館関係	10
	(1)社会教育・公民館関係の会議、行事一覧	10
	(2)公民館学級講座実績	10
	(3)木祖村型コミュニティスクール	11
	(4)青少年健全育成関係	12
	(5)読書活動推進関係	12
	(6)芸術文化関係	12
	(7)成人式関係	12
4	社会体育関係	13
	(1)社会体育関係会議等	13
	○体育協会	13
	○村内一周駅伝大会	14
	○社会体育施設使用調整会議	14
	(2)スポーツ団体等	14
	○体育協会(11種目)	14
	○体育協会以外のスポーツ団体	14
	○ジュニアスポーツ団体	14
	(3)社会体育施設利用状況	14
	○木祖村運動場	14
	○木祖村テニスコート	14
	○社会体育館・弓道場	14
	○学校開放施設	15
	(4)スポーツ大会・教室等	15
	○村民体育祭	15
	○村民登山	15
5	文化財保護事業関係	15
	(1)文化財保護審議会	15
	(2)木祖村郷土館	15
6	木祖村放課後児童クラブ事業関係	16
	○木祖村放課後児童クラブ利用状況	16
7	主要建設工事等	18
	(1)施設整備・管理・修繕・備品購入	18
8	教育委員会関係委員名簿	19
9	公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧	20
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座(社会教育)	20
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座(社会体育)	21
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座(すくすく倶楽部)	22

## 1 教育委員会関係

(現状と評価)

教育委員会は、平成27年4月1日に施行となった「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、首長が任命した新制度による新しい教育長(任期3年)の一期目が終了し平成31年4月1日より現教育長再任で、平成31年度を発足した。改元された令和元年5月からも、メンバー構成としては現行体制で推進することとなった。

教育委員会では、平成31年・令和元年度において、11回の定例会議と1回の臨時会を開催、必要事項を審議、決定し責務を果たしてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止関連で、2月に予定していた総合教育会議の中止、小中学校の卒業式も列席者を教育長のみに限るなど予想だにできなかった判断を強いられた年度末となった。定例教育委員会では、小学校、中学校へ各2回の授業参観及び給食試食、行事参観を行うなど、学校における児童生徒の様子や教職員の様子を実際に見ることを大切にしてきた。

就学相談アドバイザーが住民福祉課、保育園、小中学校及び放課後児童クラブと連携した就学支援体制をサポートする形で位置付いたことは、関係部署で対象生を理解すると共に保護者への理解を促すことに大きな成果を上げてきている。

教員の働き方改革が声高に叫ばれるようになる中、小中学校の実情を把握すると共に具体的にできそうな改革を探る情報共有を行うようにしてきた。その中で、中学校教職員の部活動指導負担を軽減する意味からスポーツ文化活動運営委員会を立ち上げ、将来的には部活動も含めた総合型地域スポーツクラブの立ち上げに向けて一步を踏み出す年となった。

信州型コミュニティスクールを中心にした学校への支援体制の進展や、月1回のあいさつ運動も定着し高まりを見せている。地域の学校として、子どもばかりでなく大人も学べる学校環境づくりをいっそう整備できるようにしていきたい。

(課題)

教育委員会は、教育行政の基本的な方針や委員会の規則や規程の制定、学校その他教育機関の設置や廃止、教育機関の職員の任免、事務事業の評価等は、教育委員会自らが執行管理することとなっている。しかし、一方では、各地でのいじめや体罰事案、教職員の非違行為が続く中で、教育委員会のあり方が課題とされている。人事権、予算編成・執行権、条例制定権などは首長部局にあり、また教員人事などについても県教育委員会が行うなどの実態の中で、市町村教育委員会の責任や権限が見えないといったあり方が問われることとなっている。

また、新しい法律の下で、村長が総合教育会議を設置し、教育に対する大綱を策定する中で、それまで村長と教育委員のみで実施していた総合教育会議の形態を、より参加者を広くして、教育行政や学校の実態に沿った意見を聞ける内容にしていく必要がある。今後近い将来、少子化に対応する学校運営のあり方や、築40年に差し掛かりつつある校舎建設も含めた方向、地域住民が直接学校や子ども達に関わり合える機会を増やすためのより弾力的なコミュニティスクール運営のあり方等について、より具体化できるよう検討していくことが課題である。

### (1)教育委員会の開催

定例教育委員会を年11回(内1回は中止) 臨時教育委員会を1回開催

### (2)教育委員関係会議・研修等

市町村と県教育委員会との連絡会議 8回

市町村と県教育委員会との懇談会 1回

関東甲信越静岡市町村教育委員会連絡協議会総会

令和元年5月31日(金) 山梨県北杜市で開催

木曽郡町村教育委員会連絡協議会総会

令和元年6月6日(木) 上松町公民館で開催

長野県市町村教育委員会連絡協議会研修会

令和元年10月11日(金) 飯田市文化ホールで開催

委員による小・中学校訪問

小学校 5月15日(水) 7月22日(月) 11月22日(金)

中学校 6月19日(水) 9月27日(金) 12月23日(水)

木曽郡PTA連合研究会(小中PTA合同研修会)

教育長参加

令和元年11月9日(土) 木祖中学校にて講演会

(3) 令和元年度教育委員会開催経過及び協議事項等

会 合	期 日	会 議 事 項
4月臨時	平成31年4月4日	(1) 人事異動による平成31年度小中学校新任職員を確認
4月定例	4月26日	(1) 木祖村社会教育委員の委嘱について (2) 木祖村公民館運営審議会委員の委嘱について (3) 木祖村文化財保護審議会委員の委嘱について (4) 平成31年度木祖村公民関係役員について (5) 木祖村立小中学校学校評議員の委嘱について (6) 平成31年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会(山梨大会)参加について (7) 5月の小・中学校行事について
5月定例 (会場 木祖小学校) (小中教育委員会合同研修会) 事業所建学・日野製薬見学 ・湯川酒造見学	令和元年5月15日	(1) 平成31年度奨学金貸与について (2) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (3) 小・中学校学校経営概要について (4) 平成31年度(令和元年度)課外活動・部活動活動方針について (5) 学校職員と民生児童委員との懇談会(6/13)について (6) 平成30年声かけ事案の認知状況 (7) 令和元年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会(山梨大会)参加について (8) 郡町村教委定例総会(6/6)について (9) 6月の小・中学校行事について
6月定例 (会場 木祖中学校)	6月19日	(1) 中学校参観・給食試食の感想 (2) 木祖中学校の現況報告(黒沢校長) (3) 小中学校教職員時間外勤務・働き方改革について (4) 学校業務改善計画素案(木祖村版)について (5) 令和2年度使用教科書(小学校)採択について (6) コミュニティ・スクールの推進状況について (7) 7月の小・中学校行事について
7月定例 (会場 木祖小学校)	7月22日	(1) 相野山小学校交流参観・給食試食感想等について (2) 民生児童委員との懇談会兼いじめ防止対策連絡協議会(6/13)報告 (3) 学校評議員会(CS運営委員会)(6/27)報告 (4) 木祖小学校の現況報告(伊藤教頭) (5) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (6) 2019体力向上プランについて (7) 県町村教育長研修総会報告 (8) 私立高校通学生保護者に対する公費助成について (9) 成人式(8/14)について (10) 8月の学校行事について
8月定例	8月30日	(1) 小中学校工事関係進捗状況について (2) 令和2年度小学校使用教科書採択について (3) 全国学力状況調査結果について (4) 平成30年度木祖村教育委員会点検評価報告書について (5) 令和元年度 長野県市町村教育委員会研修総会(10/11)について (6) 木曾郡中学校陸上競技大会今後の運営方針について (7) 9月の小・中学校学校行事について

(3) 令和元年度教育委員会開催経過及び協議事項等

会 合	期 日	会 議 事 項
9月定例 (会場 木祖中学校)	9月27日	(1) おおとり祭参観 見学をして (2) 令和元年度 長野県市町村教育委員会研修総会(10/11)について (3) 中2・中3平和学習について (4) ヤマトイワナ産卵場づくりについて (5) 中3自主学習見守り協力員について (6) 2022年度選抜からの高校入試について (7) 小中学校工事関係進捗状況について (8) 文化財保護審議会報告 (9) 10月の小・中学校学校行事について
10月定例	10月16日	(1) 小学校マラソン記録会を参観して (2) 令和元年度 長野県市町村教育委員会研修総会(飯田大会)の報告 (3) スポーツ文化活動運営委員会報告 (4) スキー場あり方検討委員会のワークショップ実施について (5) 木曾郡音楽会・郡新人大会案内と参加について (6) 郡PTA連合研究集会(11/9)について (7) 転入生について (8) 11月の小・中学校学校行事について
11月定例 (会場 木祖小学校)	11月22日	(1) 給食試食会・授業参観から (2) 木祖小学校からの報告・1、2学期を振り返って (3) 小中学校工事関係進捗状況について (4) スポーツ文化活動運営委員会アンケートについて (5) 中3自主学習見守りについて (6) 中3平和学習報告 (7) 「もいちど小中学校」事業骨子説明 (8) 総合教育会議(2/26)の持ち方について (9) 12月の小・中学校行事について (10) 村長と保護者との懇談会実施(2回に分けて同内容で)
12月定例 (会場 木祖中学校)	12月23日	(1) 授業参観・給食試食会から (2) 木祖中学校からの報告1・2学期を振り返って (3) スポーツ文化活動運営委員会アンケートの公表について (4) 村長と保護者(小学校)との懇談会で出された意見、要望の集約 (5) 小学校すくすくスクール活動に関するアンケート公表について (6) 安全対策協議会について (7) 総合教育会議(2/26)の持ち方について (8) 小中学校工事関係進捗状況について (9) 1月の小・中学校行事について
1月定例	令和2年1月17日 (書面会議)	(1) 総合教育会議(2/26)の持ち方について (2) 木祖村総合教育大綱(案)について (3) もいちど小中学校事業について (4) 時間外勤務時間等調査の結果から (5) 令和2年度 年間行事(案)について (6) 2月の小・中学校行事について
2月定例 (木祖村総合教育会議) コロナウィルス感染拡大防止 のため中止	2月26日	(1) 総合教育会議 木祖村総合教育大綱について ①学校教育(小学校・中学校) ②社会教育(コミュニティスクール運営) ③社会体育(すくすく倶楽部・源流トラッククラブ) ④児童福祉(放課後児童クラブ) ⑤予算付け関係 (2) 意見交換・情報交換
3月定例	3月16日	(1) 小中学校職員人事異動について (2) 令和2年度 年間行事予定について (3) 当面する学校業務への対応について (4) 令和2年度副学籍児童生徒の確認 (5) 転退教職員送別会・新任職員歓迎会について

## (4) 令和元年度教育委員会関係事業・会議・研修等

月	日	曜	会議・行事	出席範囲				
				委員会	職務代理	教育長	事務局	小中学校
H31 4月	1日	月	教育長辞令交付・小中校長辞令交付			○		
	2日	火	消防団任命式			○	○	○
	4日	木	臨時教育委員会	○	○	○	○	
	4日	木	木祖小・中学校入学式	○	○	○	○	○
	5日	金	とちのみ保育園入園式			○		小校長
	10日	水	あいさつ運動			○		
	10日	水	公民館分館長主事会議			○	○	
	12日	金	御嶽海後援会幹事会			○		
	17日	水	体育協会総会			○	○	
	23日	火	教委連絡会(松本市Mウイング)		○	○		
	23日	火	スポーツ文化活動運営委員会			○	○	中校長
	26日	金	4月定例教育委員会	○	○	○	○	
	26日	金	小中学校PTA総会・新任教職員歓迎会	○	○	○	○	○
	27日	土	すくすくスクール開校式			○	○	
	R1 5月	9日	木	ソフトボールリーグ開会式			○	
10日		金	あいさつ運動			○		小校長
15日		水	定例教育委員会(小中教委合同研修会)	○	○	○	○	○
23日		木	文化財保護審議会			○	○	
28日		火	町村教委連絡会		○	○		
28日		木	地域図書館運営委員会			○	○	○
29日		水	御嶽海後援会総会			○		
31日		金	関東甲信越静市町村教委研修総会(北杜市)	○	○	○	○	
6月	3日	月	青少年健全育成協議会総会			○	○	○
	6日	木	郡町村教委連研修総会(上松町)	○	○	○	○	
	11日	火	あいさつ運動			○		
	11日	火	高校の将来像を考える協議会幹事会			○		
	11日	火	郡教科書採択研究協議会			○		
	13日	木	民生児童委員との懇談会			○		○
	17日	月	6月会議(～21日)			○	○	
	19日	水	定例教育委員会	○	○	○	○	中校長
	24日	月	高校の将来像を考える協議会幹事会			○		
27日	水	CS運営委員会学校評議員会			○		○	
7月	1日	月	社会を明るくする運動啓発運動				○	
	3日	水	小学校音楽会	○	○	○		○
	3日	水	高校の将来像を考える協議会			○		
	4日	木	県町村教育長研修総会(立科町)(～5日)			○		
	11日	木	あいさつ運動			○		
	11日	木	特別支援教育推進員との懇談会			○	○	○
	22日	月	定例教育委員会(小学校)	○	○	○	○	小校長
	25日	木	郡教科書採択研究協議会			○		
	28日	日	郡総合体育大会(陸上)			○	○	小校長
	31日	水	和泉究さん交流会(木祖中)			○	○	中校長
8月	1日	木	要保護児童対策地域協議会			○	○	○
	6日	火	市町村教委と県教委との懇談会		○	○		
	14日	水	成人式	○	○	○	○	○
	23日	金	あいさつ運動			○		
	23日	金	高校の将来像を考える協議会			○		
	25日	日	総合防災訓練			○	○	
	27日	火	町村教委連絡会		○	○		
	29日	木	高校の将来像を考える協議会(意見聴取会)			○		
	30日	金	定例教育委員会	○	○	○	○	
	9月	6日	金	中学校郡陸上競技大会			○	
11日		水	9月会議(～18日)			○	○	
11日		水	あいさつ運動			○		
12日		木	日曜画家展審査会			○		
13日		金	高校の将来像を考える協議会(意見聴取会)			○		
14日		土	とちのみ保育園運動会	○	○	○		小校長
20日		金	御嶽海後援会ツアー			○		

## (4) 令和元年度教育委員会関係事業・会議・研修等

月	日	曜	会 議 ・ 行 事	出 席 範 囲				
				委員会	職務代理	教育長	事務局	小中学校
9月	21日	土	小学校運動会	○	○	○		○
	25日	火	村内文化財パトロール			○	○	
	27日	金	定例教育委員会(中学校)	○	○	○	○	
	27日	金	おおとり祭(~28日)	○	○	○		○
10月	2日	水	町村教委連絡会		○	○		
	3日	火	スポーツ文化活動運営委員会			○	○	中校長
	5日	土	日曜画家展表彰式			○		
	9日	水	教育課程研究協議会(小学校)			○		小校長
	10日	木	あいさつ運動			○		
	11日	金	県市町村教育委員研修総会(飯田市)	○	○	○		
	11日	金	ソフトボールリーグ閉会式			○		
	16日	水	定例教育委員会 小学校マラソン大会	○	○	○	○	小校長
	23日	水	木曾郡音楽会	○	○	○		○
	25日	金	教育委員会定期監査会			○	○	
	26日	土	公民館文化祭展示会(~27日)				○	
	11月	3日	土	駅伝大会 芸能祭			○	○
7日		木	中3平和学習			○		中校長
8日		金	町村教委連絡会		○	○		
9日		土	郡PTA連合研究集会(中学校)			○		○
11日		月	あいさつ運動			○		
17日		日	開村130周年記念式典(芸能祭)		○	○	○	○
18日		月	卒業記念写真撮影			○		○
20日		水	来入児就学時健診			○	○	小校長
22日		金	定例教育委員会(小学校)	○	○	○	○	
12月	3日	火	12月会議(~19日)			○	○	
	5日	木	スキー場安全祈願祭			○		○
	6日	金	高校の将来像を考える協議会			○		
	9日	月	スポーツ文化活動運営委員会			○	○	中校長
	11日	水	あいさつ運動			○		
	20日	金	高校の将来像を考える協議会			○		
	23日	月	定例教育委員会	○	○	○	○	中校長
	23日	月	安全対策協議会			○	○	○
R2 1月	10日	金	あいさつ運動			○		
	11日	土	消防団出初め式			○	○	○
	14日	火	町村教委連絡会		○	○		
	17日	金	定例教育委員会→書面会議	○	○	○	○	
	28日	火	町村教委連絡会		○	○		
2月	4日	火	御嶽海後援会役員会			○		
	5日	水	要保護児童対策地域協議会			○	○	○
	6日	木	村行政懇談会(~18日)			○	○	
	10日	月	あいさつ運動			○		
	10日	月	要保護児童対策地域協議会代表者会			○	○	○
	17日	月	高校の将来像を考える協議会幹事会			○		
	19日	水	CS運営委員会学校評議員会			○		○
	20日	木	文化財保護審議会			○	○	
	26日	水	総合教育会議→コロナ対策で中止	○	○	○	○	○
	28日	金	高校の将来像を考える協議会→中止			○		
3月	2日	月	町村教委連絡会		○	○		
	5日	木	分館長主事会議→コロナ対策で中止			○	○	
	6日	金	3月会議(~23日)			○	○	
	11日	水	あいさつ運動→中止			○		
	16日	月	定例教育委員会	○	○	○	○	
	17日	火	小学校卒業式			○		小校長
	18日	水	中学校卒業式			○		中校長
	24日	火	転退職教職員送別会→コロナ対策で中止	○	○	○	○	○
	25日	月	とちのみ保育園卒園式→コロナ対策出席不要			○		小校長
	26日	木	給食センター運営委員会			○		小校長

## 2 学校教育関係

### (現状と評価)

小学校は「子どもが喜んで登校できる学校づくり」を、中学校は「生命を大切に、自ら伸びようとする生徒」を、それぞれ教育目標として掲げ運営をしてきた。また、地域と共にある学校を見据えたコミュニティスクール組織との連携も継続的に進め、学校評議員会をコミュニティスクール運営委員会と合同で行い、公民館長をコーディネータに位置づけて活動に取り組んだ。小学校は目指す子どもの姿を「明るくのびのびとした子ども」、中学校は「生命を大切に、自ら伸びようとする生徒」をスローガンに、ふるさと木祖村を愛し、生きる力を身につけさせることを重点に、小・中学校それぞれに個性ある学校運営計画を立案し、学校長を中心に教職員一体となって、児童・生徒の教育活動の実践を積み重ねてきた。

### (学校評価への取組)

学校評価への取組として、3つの評価を大切にしている。一つ目は、学校が児童生徒の学習状況や教育課程の実施状況等に関して行う教師自身による自己点検・自己評価である。二つ目は学校生活全般について子ども達自身が行う授業評価と生活評価である。そして三つ目が、学校の教育活動全体について保護者が行う保護者評価である。この3評価の結果から、その成果や課題を明らかにしながら、学校運営や教育活動の改善を進めるために評価の考察と合わせて、保護者や地域社会に、小学校は「小学校だより」、中学校は「おおとり」で公表し、保護者には校長講話によって丁寧に説明を行ったり、村民には、隣組回覧を利用して地域に公表している。学校評議員会を2回開催し、学校評価の結果や体力テストの結果等を説明し、意見交換の場も設定している。

### (課題)

児童生徒数が減少する中、現況に応じた最大限の教育条件を整える必要がある。まずは県費教職員数の確保である。今年度、中学校特別支援学級が1増設され、それに伴って職員も加配となった。R2年度より、小学校で英語が教科化され、プログラミング教育も完全実施となることに合わせ、小学校への英語専科の配置や中学校も含めてICT指導員加配について県に要望したり、村費講師加配を考えたい。一方、村費加配としての小中支援員、中学校英語、数学講師については、各学校運営の中でしっかり活用していただき、個別な児童生徒への対応という点で成果を上げてきている。今後もふさわしい人材を継続的に配せるようにしていきたい。今後ますます必要感が大きくなるICT教育内容を推進するために、現在は小中各1学級分配備されているタブレットの増設、スムーズなネット環境整備等も課題である。昨年度に引き続き長期欠席傾向の児童生徒が認められたが、家庭はもとより、外部機関とも連携しながら、ねばり強く継続的に向き合っていくことが課題である。また家庭と学校をつなげて学習を進めるためのオンライン学習の活用なども長期欠席者に対する指導の選択肢の一つとして考えることも必要である。児童生徒数は、今後減少に転じていく。4年後のR5年度以降は現在より全体で25人を超える減少幅となり、現在の1学年分減という事態になる。少子化の中での学校運営をどうするかは今後の大きな課題であり、木祖村の実情に合った学校のあり方を教育委員会や学校ばかりでなく村全体で考えて行く時期に踏み込もうとしている現況である。

### (1) 学級編成、児童生徒の状況（平成31年4月1日実数）

小学校児童数は昨年比9人の減、中学校生徒数は7人増となった。学級数は小学校は各学年1クラスの6学級と特別支援学級2クラスの8学級で児童数は126人、中学校は各学年1クラスと特別支援学級が1クラス増で2クラスの5学級で生徒数は73人となった。

木祖小学校・木祖中学校 児童・生徒数（平成31年4月1日実数）

木祖小学校					木祖中学校			
学年	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計
1学年	1	7	14	21	1	14	13	27
2学年	1	7	13	20	1	11	14	25
3学年	1	9	12	21	1	9	12	21
4学年	1	10	10	20				
5学年	1	9	12	21				
6学年	1	11	12	23				
特別支援	2	7	1	8	2	2	1	3
合計	8	53	73	126	5	34	39	73

前年比-9

前年比+7

小・中学校児童・生徒数の推移と見込 (R2.7.1現在) 比率は対H30年度比

区分	年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	学年	2018年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
小学校	1	20	21	18	16	24	10	19	19
	2	25	20	21	18	16	24	10	19
	3	19	21	22	21	18	16	24	10
	4	21	20	21	22	21	18	16	24
	5	22	21	21	21	22	21	18	16
	6	28	23	21	21	21	22	21	18
	小計	135	126	124	119	122	111	108	106
比率	100.0	93.3	91.9	88.1	90.4	82.2	80.0	78.5	
中学校	1	25	27	20	21	21	21	22	21
	2	20	25	27	20	21	21	21	22
	3	21	21	25	27	20	21	21	21
	小計	66	73	72	68	62	63	64	64
	比率	100.0	110.6	109.1	103.0	93.9	95.5	97.0	97.0
小中学校 総合計		201	199	196	187	184	174	172	170
全体比率		100.0	99.0	97.5	93.0	91.5	86.6	85.6	84.6

- 1) 小学生はH30年度の135人を頂点に減少傾向となる。
- 2) 小学生はR4年度まではほぼ120人を維持するが、中学生はR3年度以降70人を割り込み、全体比率でもH30年度比較でR5年度以降は90%を割り込む見込になっている。
- 3) R5年度の小学校入学児童が10人と少ないこともあるが、これ以降小中全体でR1年比較で25人以上の減少となる。これは現在の1学年分の人数相当の減少幅で今後の動向を注視する必要がある。

## (2)通学対策

小木曾・菅地区の児童生徒のスクールバスによる通学を援助するため、スクールバスの運行委託費用として小学校 8,741千円、中学校 5,827千円を支出した。また、スクールバスの運行経路が確保できない児童について、「たんぼぼ号」で通学の足の確保を行っている。

## (3)就学援助費

準要保護児童・生徒世帯に合計795千円を扶助した。

## (4)学校給食

木祖村学校給食センターで小・中学校児童・生徒・教職員に対し、栄養士1人、調理員4人体制で、小学校186日、中学校185日の給食を供給した。

児童・生徒のより一層の安全安心確保の観点から、給食食材について、長野県学校給食安心安全対策事業を実施した。地産地消事業として、地元産米の提供や生産者グループ「愛菜」と連携し、地元産野菜を給食食材に提供している。

## (5)教員住宅

年度末時点で、教育委員会管理の教員住宅が19戸あり、教職員4人、一般4人の入居があった。R1年度は1,937千円の貸付け収入があったが、R2年度から村総務課が村営住宅全体で一括管理することとなった。

### 3 社会教育、公民館関係

#### (現状と評価)

教育委員会と公民館が連携を保って生涯学習を進めるために様々な学級や講座を行ってきた。やらまい会では音楽教室、村の歴史講座、お六櫛やクリスマスアートといった物づくり体験、安曇野市美術館や東信小諸懐古園を巡る県内研修を実施した。また、昨年度に引き続き、すすくく倶楽部と共催で米作り体験を開催。春の田植えから始まり、秋の稲刈り、脱穀、冬の餅つきまで、体験を通じて多くの子どもと大人が交流することができた。

今年度は開村130周年ということもあり、記念事業として文化祭展示会では木祖村歴史写真展を各分館で実施し、例年より多い来場者数となった。芸能祭では年々参加団体が増えており、村歌発表イベントにおいては下流域から大勢の来賓に出席していただくことができた。

源流図書館は開設11年目となり、貸出冊数・来館者数はともに前年度比80%に留まった。6月に図書館システムの入れ替えを実施し、外部のPCやスマホから小中学校および源流図書館の蔵書検索が可能となった。とちのみ保育園への絵本の貸出しも始めた。

#### (課題)

教育委員会や公民館で行う事業では、参加者の固定化や減少が課題である。個人でのサークル活動が活発に行われるようになり、余暇活動に対する村民の個別化が進んでいるとみられる。本館の講座について、高齢者の生きがいがづくりや子ども達との世代間交流は進んでいるが、男性や若年層の参加率の低さは解消されておらず、男性や若者が参加したくなるような内容の検討・教室開催が喫緊の課題である。分館においては、運営委員を中心に精力的に様々な地域交流を進めていただいているが、他の役との兼ね合いによる委員の多忙化や成り手不足が問題となっている。分館のあり方そのものが地区によっては検討段階に入っており、村全体としても考えていくべき重要課題である。

源流図書館については、利用者数を増加させることは継続課題であるが、来館者数の地域差が非常に大きく、図書館から近い地区ほど多く、遠い地区ほど少ない傾向にある。この地域差を小さくすることが課題解決の鍵であると考えられる。これまでの利用者満足度向上も重要課題として取り組みつつ、離れた地区であっても身近に感じていただける来やすい図書館づくりを進めていきたい。

#### (1) 社会教育・公民館関係の会議、行事一覧

今年度も社会教育委員、公民館分館運営委員を中心に各種研修会への参加や交流会を通じて各委員の資質の向上に努めた。また公民館主催行事への運営に協力をいただいた。

#### 令和元年度 社会教育・公民館関係の主な会議・事業一覧

月日	会議・事業名	開催場所	参加者数
4月10日	木祖村社会教育委員・分館長主事合同会議	木祖村役場	20名
4月12日	木曾郡公民館運営協議会定期総会	上松町公民館	2名
5月16, 17日	長野県公民館主事研究会・総会	下條村	1名
5月20日	木曾郡社会教育委員連絡協議会定期総会・研修会	上松町公民館	6名
5月23日	長野県公民館運営協議会定例総会	松本市南地区公民館	2名
8月14日	木祖村成人式	村民センター	対象24名
9月26, 27日	第67回長野県公民館大会	佐久穂町生涯学習館	2名
10月26, 27日	木祖村開村130周年記念 第46回木祖村文化祭	木祖村内6会場	来場者1742名
11月10日	第58回木曾郡公民館大会	木曾町福島文化交流センター	12名
11月17日	木祖村開村130周年記念 第46回木祖村芸能祭	木祖村社会体育館	13団体, 来場300名超

#### (2) 公民館学級講座実績

年度当初に策定した社会教育計画に基づき、「趣味・特技の向上や木祖村の自然・歴史・文化等を学ぶ学級講座の開講」「子どもから高齢者まで気軽に参加でき、村民同士が触れ合える行事の開催」を実施することができた。

実績詳細はP20公民館学級講座開設台帳参照

### (3)木祖村型コミュニティスクール

#### (現状と評価)

社会教育と学校教育との連携という視点から、コミュニティスクール(CS)の活動を推進してきた。CSの導入については、国、県からの要請に対応しての正式な取組という面もあるが、木祖村では、中学校で代表される総合的な学習の時間を利用した「おおりの時間」や、小学校社会見学や遠足への付き添いボランティアの同行、花咲く村づくりの会が参画しての学校花壇の造園活動などは、制度導入以前からごく普通の教育活動として行われていて、大きな教育成果を上げてきたという評価も得ていた。そうした実績を土台として、さらにコーディネータの公民館長を窓口にして学校側と支援ボランティアとの連携を取りながら、支援を受ける学校側はもちろんのこと、支援する大人の側も子ども達と学習活動ができて良かったと言える活動を増やしていくようにしている。その際に、できる限り学校側が負担増とならないように配慮することに心がけてきた。CS活動の振り返りと内容充実については、CS運営・学校評議員会を立ち上げ、その中で情報共有しながら子ども達にとってより良い学習内容が提供できるようにしている。主な実績は、下表に示した。2年目の実施となった中学校道徳でのゲスト講話は、生徒達はもちろんのこと外部講師の方々からも参加して良かったという声が聞かれて成果を上げる取組となった。

#### (課題)

今後、少子高齢化がさらに進む中で、学校支援ボランティア人材をどのように確保していくかは大きな課題である。子ども達のため、学校のためにひと肌脱いでも協力を惜しまない人材を広く求める営みをCS運営上どのように位置づけるかが課題。そんな中8月に呼びかけた中学校PTA親子作業での校庭の草取り作業には、多くの方の参加があり成果を得たことは、今後の計画の中で活用していきたい事案となった。学校が目指す教育目標、指導目標に合わせて協力できるようにしたい。これまでの取組の中から、高評価を得ているものについてはさらに増進を、そして、新たな事業については学校側のニーズに応じる形で最大限対応できるようにしていきたい。

#### (小学校での主な事業)

	実施事業名	事業内容	実施日
①	花咲く村づくりの会と取り組む造園活動	村内で伝統的に行われている花咲く村づくりの会会員の指導を受けながら、学校花壇造園に取り組む	通年
②	社会見学 遠足付き添いボランティア	各学年行事へ同行しながら、史跡にまつわる説明や、支援をするボランティア活動	通年
③	農業体験	休閑栽培ハウスを利用したユリ栽培 事業者及びJA職員の指導を受けて活動	5～9月
④	家庭科学習ボランティア	調理実習、裁縫についての指導、支援見守り	通年
⑤	朗読ボランティア	学校からの要請を受けて子ども達への絵本の読み聞かせ	通年

#### (中学校での主な事業)

	実施事業名	事業内容	実施日
①	おおりの時間への指導参加	村の伝統である「お六櫛」制作、「藪原祭り」への伝統伝承を目的に縦割り班編制の中学生への指導。社会福祉協議会の支援をいただく交流活動	5～9月
②	地元を知る職場体験地域学習	地元産業を理解し、キャリア教育推進の一助とする取組。受け入れ協力22事業所。 ・マルオカ工業 ・湯川酒造 ・まとと食品 ・味噌川ダム管理所 ・こだまの森奥木曾グリーンリゾート ・きそむら道の駅 ・とちのみ保育園 ・特別養護老人ホームサニーヒルぎそ ・デイサービスセンターそほく ・社会福祉協議会 ・花きユリ栽培 ・御嶽はくさい栽培 ・JA木曾畜産支援センター ・木曾藪原石油販売小木曾給油所 ・放課後児童クラブ ・焼肉権兵衛 ・木曾土建工業・藪原郵便局 ・笑館 ・角田ナーセリー ・木曾建設労働組合・民宿りんどろ	夏休み中2日間
③	戦争体験者と語る平和学習(中3生)	講師に飯島春光先生を迎え、戦争体験をお持ちの村民4名の体験談を生徒達に紹介し、意見交換をする形態で実施。	11月7日
④	「道徳」学習支援のゲスト講話	道徳授業のゲストティーチャーとして全校生徒に15分程度の講話を提供。 ・久保島賢一(水木沢天然林管理所長)・中嶋純(駐在所)・丸山幸一(畜産経営農家・村会議員)・北川聡(お六櫛職人)・平田美紀(とちのみ保育園保育士)・小川礼子(木祖村観光協会地域おこし協力隊)	6回実施
⑤	パソコンタブレットを使った自主学習	中3生の進路実現に向けた自主学習の場を、土曜日に学校を開放して行い、それに伴う見守り支援。タブレットを用いて可能な自主学習を中心に実施。 ・中3生21人中19人が参加。かかわった見守りボランティア保護者中心に22名。	10月～2月 15回実施

#### (4) 青少年健全育成関係

7月の啓発活動は社会を明るくする運動と合同で行い、JR利用者を中心に啓発活動を実施した。

月日	会議・事業名	開催場所	参加者数
6月3日	青少年育成連絡協議会総会	役場	33名
7月2日	強調月間啓発活動 社会を明るくする運動	藪原駅	17名
2月28日	通学路安全点検 (コロナ対策で中止)	小学校前	

#### (5) 読書活動推進関係

平成21年に開館した地域図書館を中心に、児童生徒をはじめ村民にも読書活動が高まるよう、図書のみならず生涯学習情報の場として充実を図っている。ここ5年間の貸出冊数、来館者数を見てみると、年度ごとに増減があるものの、貸出冊数は1700冊以上、来館者数は600名以上の基準を保っている様子が伺える。しかし、いまだに来館者の地域差が大きいと、この地域差を無くすことで今後さらなる増加が見込めると考えられる。

運営状況: 平日午後1時～午後6時開館 土日午前9時～午後5時開館、月曜定休日  
 令和元年度開館日数: 285日 新規利用登録者数: 藪原7、菅1、小木曾3、村外2名 計13名  
 利用冊数: 一般1,670冊＋中学生40冊  
 図書館協力員(有償ボランティア)7名程が半日を単位に交代勤務している。

源流図書館貸出冊数

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度
4月	115	179	152	150	130
5月	119	157	135	167	122
6月	151	160	170	184	141
7月	154	162	174	178	200
8月	144	167	146	150	155
9月	137	173	157	174	156
10月	183	178	144	190	149
11月	155	190	123	185	140
12月	172	173	152	172	161
1月	191	160	139	167	120
2月	153	120	131	140	87
3月	67	96	101	119	149
合計	1,741	1,915	1,724	1,976	1,710

源流図書館来館者数

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度
4月	45	54	46	69	41
5月	54	66	53	57	43
6月	58	57	55	61	58
7月	72	51	57	70	70
8月	70	51	55	62	71
9月	58	60	46	74	53
10月	73	60	41	89	53
11月	55	66	49	79	55
12月	57	58	49	78	69
1月	63	54	54	59	55
2月	71	60	66	87	46
3月	32	31	38	48	57
合計	708	668	609	833	671

#### (6) 芸術文化関係

木祖村文化祭展示会と芸能祭は第46回を迎え、木祖村開村130周年記念事業としても開催された。展示会は10月26～27日、村内6会場で、芸能祭は11月17日に木祖村社会体育館で開催された。展示会、芸能祭ともに日ごろの公民館活動やサークル活動の発表の場として定着してきた。

展示会では小学生陶芸作品や木祖村公民館陶芸教室など各講座の作品、各分館の企画やサークル活動による作品展示を実施した。記念事業の木祖村歴史写真展も同時開催したことにより、前年比109%の来場者数となった(目標は110%)。

芸能祭への出演は昨年度より多い13団体の参加となった。記念事業として村歌発表コンサートを同時開催し、下流域から多くのご来賓にも列席いただき、300名以上の来場者数となった。

木曾文化公園自主事業企画実行委員会への運営協力、各種サークル活動の支援(広報きそによる情報提供)も実施した。

#### (7) 成人式関係

成人式は8月14日村民センターにて開催

対象者 平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ 29名

【当日出席者】

成人者29名 来賓27名 恩師8名 主催者16名 合計80名

## 4 社会体育関係

### (現状と評価)

源流スポーツ大学は、「シェイプアップ教室」、「体力アップ教室」、「ヨガ教室」、「エアロビ教室」、「水中運動教室」、「トレーニングジム体験&インボディー測定」を行った。教室全体での参加者は増加したが、男性の参加者は増えない状況である。

一方で、小学生を対象とした「すくすく倶楽部」には、学校児童の75%以上の子どもが登録している。子どもの数が減る中で地域で遊ぶ機会が減ってきていることが背景にあると思われる。

源流トラッククラブは30名を超える登録者で基礎体力作り、運動能力の向上を目的に活動をしている。各種大会にも多くの子どもが参加し練習の成果を発揮している。

村内一周駅伝大会は第61回大会であったが木祖村開村130周年でもあり家族チームによる参加や企業チームも多く参加し(5区間 29チーム、10区間 2チーム)盛大に開催できた。

平成27年度から村民登山(木祖村から見える山を登る)を企画し、今年度は9月10日に「御嶽山」登山を実施し、村民17名が参加した。

### (課題)

源流スポーツ大学の参加者数は若年層の参加者も増え年々増加はしているが、前からの課題である男性の参加者が増えない状況に変わりはない。男性の参加しやすい・参加したい元気な体力づくり、健康な体力づくりができる内容の教室を検討していく。

村民の趣味の多様化により、スポーツ団体が増え、個々の団体の構成員が減っていく傾向がある。特に少子化、高齢化の進む中で少年部門の団体が減少し、維持が困難な状況も生じてきている。老若男女誰でも楽しめるスポーツ「ニュースポーツ」の導入なども検討していく。

村内一周駅伝大会については、蕨原地区の自治会のように選手が集められないといった傾向にあり、今後、合同チームでの参加などへ移行する可能性もある。また、10区間第2部については参加チーム数の減少により開催の検討が必要である。5区間第1部は村外者による団体参加も数チームある。

### (1)社会体育関係会議等

今年度も、体育協会については年間計画に沿って役員会等を開催し、その都度各部へ報告や依頼をした。また、郡総体関係についても積極的な参加を依頼し、反省事項等は郡の会議へも報告をした。

## ○体育協会

### 令和元年度 体育協会関係会議・事業

月 日	会 議 ・ 事 業 名	開催場所
4月18日	村体育協会代議員会	役場2F大会議室
5月18日	木曽郡体育協会定期総会	上松町
7月28日	木曽郡総合体育大会開会式	大桑村
9月4日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
10月23日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
3月12日	村体育協会役員会	※コロナ中止
3月15日	木曽郡総合体育大会冬季スキー大会	※コロナ中止

## ○村内一周駅伝大会

第61回となった村内一周駅伝大会は、11月3日に行われ、参加チーム数も、5区間29チーム、10区間2チームとなり、盛大に開催することができた。

### 第61回(令和元年度)木曽川源流村内一周駅伝大会 参加チーム等

出場チーム		登録者数	役員等	人数
5区間の部	29チーム	145名	大会役員	15名
10区間の部	2チーム	20名	競技役員	85名
補欠登録者		29名	交通安全協会	49名
監督・代表者		22名		
計		216名	総合計	365名

### 第61回(令和元年度)木曽川源流村内一周駅伝大会 関係会議

月 日	会議・事業名	開催場所
9月20日	駅伝大会打合せ会議	役場2F大会議室
10月23日	駅伝大会競技役員打合せ会議	役場2F大会議室
10月25日	駅伝大会最終監督会議	役場2F大会議室
11月3日	第61回村内一周駅伝大会	村内コース
11月27日	駅伝大会反省会	役場2F大会議室

## ○社会体育施設使用調整会議

令和元年度 社会体育施設使用調整会議

月 日	会議・事業名	開催場所
7月19日	使用調整会議(8~11月)	役場2F大会議室
11月27日	使用調整会議(12~R2.3月)	役場2F大会議室
3月12日	使用調整会議(R2.4~7月)	コロナ中止

## (2)スポーツ団体等

スポーツ団体は体協を中心に22団体が活動をしている。活動は各団体でそれぞれ行なっており、教育委員会として相談や依頼を受け対応をしている。

### ○体育協会(11種目)

スキー部 野球部 剣道部 ソフトテニス部 射撃部 弓道部 ソフトボール部 バドミントン部  
ゴルフ部 卓球部 マレットゴルフ部

### ○体育協会以外のスポーツ団体

ソフトバレー愛好会 軽スポーツ同好会 バasketボールサークル フットサルクラブ  
男子バレーボール

### ○ジュニアスポーツ団体

学童野球 少年野球 ジュニアスキークラブ ジュニア卓球クラブ 少年剣道部  
ジュニアフットサルクラブ

## (3)社会体育施設利用状況

### ○木祖村運動場

定期利用 体協野球部 体協ソフトボール部 学童野球 少年野球

### ○木祖村テニスコート

定期利用 体協ソフトテニス部

### ○社会体育館・弓道場

定期利用 体育協会(剣道部・弓道部・バドミントン部・卓球部)  
体協以外(ソフトバレー愛好会・源流スポーツ大学・Basketボールサークル・男子バレーボール)  
ジュニア(ジュニア卓球クラブ・少年剣道部・ジュニアフットサルクラブ)  
雨天時のみ(学童野球・少年野球)  
冬期間のみ(体協野球部・体協ソフトボール部・学童野球・少年野球)  
その他 合宿等

※夏場は合宿等の利用が多いが、村内スポーツ団体等の利用が出来ない時も見受けられるため、今後の利用方法や村外予約関係についても検討をしていく必要がある。

## ○学校開放施設

- ・木祖小学校体育館・校庭  
利用団体(学童野球・軽スポーツ同好会・すくすく倶楽部・バスケットボール教室・陸上教室)
- ・木祖中学校体育館・校庭  
利用団体(ジュニアフットサルクラブ・体協バドミントン部)
- ・その他 合宿等

## (4)スポーツ大会・教室等

スポーツ教室については、小中学生対象の教室を中心に開催した。また、健康づくりの一環として、一般村民向けに健康づくりや身体づくりの教室を開催した。体育の日を中心に村民体育祭を開催した。

## ○村民体育祭

(開催日)

- 教委主催 ハイキング大会(雨天中止)・ソフトバレー大会(共催)・フットサル大会(共催)  
各部主催 野球大会・少年剣道大会・ソフトテニス大会・射撃大会・弓道大会・バドミントン大会  
ゴルフ大会・卓球大会・マレットゴルフ大会  
・その他の大会・教室は別途一覧参照(P21)

## ○村民登山

「御嶽山」登山を実施。開催日9月10日(火) 17人が参加した。

## 5 文化財保護事業関係

### (現状と評価)

文化財保護審議会の活動については、郡及び県の研修会への参加、村内文化財パトロールによる状態の確認を行った。

文化財保護法の改正により文化財保護事務を教育委員会から首長部局に移管し自治体がまちづくりや観光といった他の政策分野との一体的な文化財行政をやりやすくできる法改正が行われたことから、今後の村づくりの状況も鑑みて検討をしていく必要がある。

### (課題)

木曾地域が日本遺産に認定され4年が経過し、今後も文化財を活用した地域振興について様々な角度から観光産業との連携も引き続き進めていく必要がある。

郷土館等の文化財伝承施設や文化財の掘り起しについて、専門職員の配置がないことから文化財保護審議委員に頼る現状である。今後は学芸員の配置など後世につなげていく体制づくりを検討しなければならない。

## (1)文化財保護審議会

審議会の開催(3回)のほか、郡研修会への参加や文化財パトロール(グループごとに随時)などを実施している。

### 【審議会・研修会等】

年 月 日	内 容	場 所
令和元年5月23日	第1回文化財保護審議会	役場
令和元年5月29日	木曾郡連絡協議会研修総会	木曾町
令和元年9月25日	第2回文化財保護審議会・村内パトロール	村内
令和2年2月20日	第3回文化財保護審議会	役場

## (2)木祖村郷土館

令和元年度の有料入場者数及び入場料は、下表のようであった。

### 【木祖村郷土館有料入場者数等】

一般	団体	小中学生	合計
300円	200円	100円	
175名	131名	124名	430名
52,500円	26,200円	12,400円	91,100円

## 6 木祖村放課後児童クラブ事業関係

(現状と評価)

ここ近年登録人数、一年間の利用平均人数は横ばいであったが、今年度は平均人数が16人と増加した。高学年の利用は減少しているが、低学年の利用は伸びている。また、長期休暇のみ利用する家庭があり3月はコロナ対策臨時休校の影響もあり、延人数が特別多かった。支援員と月1回打ち合わせ会を開催し、子ども達の様子や行事について協議している。また、専門のコーディネーターを交え勉強会や郡内の定例会に参加して情報交換や学習会を開催している。

(課題)

小学校の余裕教室を利用し実施しているが、参観日や長期休暇開所日で利用人数が増加した場合は一室では困難である。また、平日では下校が学年で違うため、時間に差があり、活動面で無理な場合がある。

## 木祖村放課後 児童クラブ利用状況

### 1. 平成26～令和元年度登録児童数

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
26	18	14	16	3	11	3	65
27	8	17	13	16	3	10	67
28	12	7	15	6	8	0	48
29	11	10	7	12	6	5	51
30	11	14	11	6	4	2	48
元	13	12	9	11	3	4	52

### 2. 平成26～令和元年度開所日数

年度	登校日	長期休	振替休	土曜日	合計
26	207	29	4	11	251
27	207	29	4	11	251
28	207	31	4	11	251
29	204	32	4	11	251
30	204	28	6	13	251
元	192	39	5	15	251

### 3. 平成26～令和元年度平日保育日数、児童人数

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	日数	18	20	20	17	9	19	20	18	19	16	19	12	207
	延人数	300	310	341	330	183	364	378	374	352	326	297	168	3,723
	平均人数	17	16	17	19	19	19	19	21	19	20	16	14	18
27	日数	19	18	21	17	9	18	20	19	18	14	20	14	207
	延人数	256	227	237	182	99	175	213	199	181	128	196	112	2,205
	平均人数	13	13	11	11	11	10	11	10	10	9	10	8	11
28	日数	18	18	21	17	7	19	19	21	18	17	20	12	207
	延人数	177	158	149	123	44	134	133	183	155	116	128	74	1,574
	平均人数	10	9	7	7	6	7	7	9	9	7	6	6	8
29	日数	18	20	21	16	6	19	20	20	18	16	19	11	204
	延人数	219	218	225	169	62	191	183	196	220	153	163	92	2,091
	平均人数	12	11	11	11	10	10	9	10	12	10	9	8	10
30	日数	17	21	20	17	8	16	21	20	18	16	19	11	204
	延人数	192	156	151	130	82	164	218	206	212	167	209	105	1,992
	平均人数	11	7	8	8	10	10	10	10	12	10	11	10	10
元	日数	17	19	19	19	7	18	19	20	19	16	18	1	192
	延人数	253	281	255	290	104	281	320	348	381	257	290	7	3,067
	平均人数	15	15	13	15	15	16	17	17	19	16	16	17	16

## 木祖村放課後 児童クラブ利用状況

### 4. 平成26～令和元年度振替休業日数、児童数

年度	区分	3月	6月	7月	9月	10月	合計
26	日数		1	1	1	1	4
	延人数		9	3	12	13	37
	平均人数		9	3	12	13	9
27	日数		1	1	1	1	4
	延人数		2	3	3	1	9
	平均人数		2	3	3	1	2
28	日数	1	1	1	1	1	5
	延人数	3	1	3	3	6	16
	平均人数	3	1	3	3	6	3
29	日数	1	1	0	1	1	4
	延人数	9	8	0	6	8	31
	平均人数	9	8	閉所	6	8	8
30	日数	1	1	1	1	1	6
	延人数	6	5	2	4	8	34
	平均人数	6	5	2	4	8	6
元	日数	1	1	1	1	1	5
	延人数	6	11	3	17	27	64
	平均人数	6	11	3	17	27	13

### 5. 平成29～令和元年度土曜日開所日数、児童数

月	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	日数	延人数	日数	延人数	日数	延人数
4			1	1	2	2
5			2	2	1	2
6	2	3	1	1	2	3
7	3	3	2	2	2	2
8			1	1	0	0
9			1	1	1	当日キャンセル
10	1	1	1	1	1	1
11	1	12	1	1	1	1
12	1	1	1	1	1	1
1	1		0	0	2	2
2	1		1	1	2	1
3	1		1	1	0	0
合計	11	20	13	13	15	15

### 6. 平成26～令和元年度長期休業日数、児童数

年度	区分	1月	3月	4月	7月	8月	12月	合計
26	日数	3	10	3	4	9	0	29
	延人数	28	155	52	107	217	0	559
	平均人数	9	16	17	27	24	0	19
27	日数	4	8	2	4	10	1	29
	延人数	14	58	22	84	164	3	345
	平均人数	4	7	11	21	16	3	12
28	日数	3	9	2	2	14	1	31
	延人数	7	84	12	27	175	3	308
	平均人数	2	9	6	14	13	3	10
29	日数	3	9	2	3	13	2	23
	延人数	18	74	23	37	166	11	329
	平均人数	6	8	12	12	13	6	14
30	日数	2	8	3	3	11	1	28
	延人数	16	87	34	37	130	6	310
	平均人数	8	11	11	12	12	6	11
元	日数	3	19	3	3	10	1	39
	延人数	38	254	50	59	175	12	588
	平均人数	13	13	17	20	18	12	15

## 7 主要建設工事等

### (1) 施設整備・管理・修繕・備品購入

教員住宅は、小学校教員住宅の給湯器交換等修繕を行った。  
 小・中学校に補助事業を活用し空調設備工事を行った。  
 小学校の工事関係については給湯設備設置工事を行い、中学校については、学習室のLED化工事や危険物屋外タンク設置と地下タンクの廃止工事を行った。  
 村民センターの内壁タイルの修繕を行い、藪原神社本殿文化財の標柱建替えを行った。  
 給食センターはシャワー室に水道を増設し洗濯乾燥機を導入した。

#### 【主要建設工事等一覧】

支出科目	事業名	請負業者名	事業費
教育総務費	教員住宅小学校7号1給湯器交換等修繕	(株)エスメック・フル	200,343円
教育総務費	教員住宅小学校12号2キッチン補修等修繕	(株)エスメック・フル	372,350円
小学校費	小学校図書館前他給湯設備設置工事	(株)エスメック・フル	982,800円
中学校費	中学校図書館網戸取付・ランチルームサッシ修繕工事	奥建	572,400円
中学校費	中学校学習室1～4LED化工事	岩原電気工事	889,920円
中学校費	中学校音楽室床改修工事	木曾土建工業(株)	924,000円
中学校費	中学校危険物屋外タンク設置及び地下タンク廃止工事	(株)若葉環境センター	1,758,350円
小・中学校費	小中学校空調設備工事(村単分)	木曾土建工業(株)	7,040,000円
社会教育費	木祖村民センター壁タイル修繕工事	(有)手塚建築所	1,540,000円
社会教育費	藪原神社本殿文化財標柱建替え修繕	チアフルベル	219,240円
保健体育費	学校給食センターシャワー室水道増設工事	(株)エスメック・フル	254,340円
小・中学校費	小中学校空調設備工事監理業務【H31繰越】	奥原建設(有)	1,375,000円
小・中学校費	小中学校空調設備工事【H31繰越】	木曾土建工業(株)	38,500,000円

8 教育委員会関係委員名簿

○教育委員

教育長	青木 信一
職務代理	永島 芳晃
委員	川口 明
委員	笹川 美穂
委員	栗屋 佳洋

○学校評議員

篠原 長平	連合自治会長
原 悦子	民生児童委員協議会長
柳川 浩司	学識経験者
笹川 岩夫	元PTA会長
篠原はるか	現PTA代表

R1.12.1～奥原利明

○文化財保護審議会委員

会長	柳川 浩司
副会長	松原 秀幸
委員	青木 正洋
委員	大藏 茂
委員	北川 聡
委員	久保畠賢一
委員	澤頭 修自
委員	湯川 喜義
委員	奥原 由孝

○社会教育委員

代表	勝野 次男
委員	青木 恭一
委員	奥原小百合
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	寺平 單
委員	黒沢 幸喜

○公民館運営審議会委員

委員	木山澤福夫
委員	青木 恭一
委員	奥原小百合
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	寺平 單
委員	黒沢 幸喜

○公民館

本館	公民館長	勝野 次男
藪原分館	分館長(副公民館長)	村井 千秋
	副分館長	牛丸 昭
	主事	柳川 浩司
小木曾分館	分館長(副公民館長)	永瀬 健弘
	副分館長	青木 利徳
	主事	草刈 成雄
菅分館	分館長(副公民館長)	奥原加志子
	主事	奥原 利明
わら原分館	分館長	青木 求
	主事	田上 利久
吉田分館	分館長	松原 秀幸
	主事	海戸 昭彦

○スポーツ推進委員

辺見 元孝
重野あやみ
寺平 單
原 智恵
奥原 健

9 公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧

令和元年度 木祖村教育委員会・公民館学級講座開催台帳(社会教育)

講座名	区分	開催日	講師	対象者	参加人数	内容	参加費	会場	備考
家庭教育学級	家庭	6/16	原 智恵	とちのみ保育園 保護者	(50組)	親子遊び講座		子育て支援セン ターみやのもり	(保育園事業)
ミニ講座	家庭	6/10	古畑理恵	保育園入園前 の子どもと保護者	13組 27名	ヘアカット講座		子育て支援 センター みやのもり	支援センター 共催
		6/24	島口今日子		4組 8名	ドライフラワー講座 (ラベンダースティック作り)			
		9/11	一ノ瀬園子		9組 18名	ハーバリウム講座			
		11/27	島口今日子		8組 16名	ドライフラワー講座 (クリスマスリース作り)			
		2/4	原 悦子、 小垣外郷江		2組 5名	入園グッズ作り①			
		2/13	原 悦子、 小垣外郷江		2組 5名	入園グッズ作り②			
		2/20	原 悦子、 小垣外郷江		3組 7名	入園グッズ作り③			
		3/3	西尾美津子、 栗山絵里奈		中止	アロマ講座			
やらい会	一般	4/18	青木瑞穂	村内一般	15	音楽教室～歌って元気はつらつ～		村民センター	
		6/25			17	県内研修① ～安曇野市美術館めぐり～	3,200円	安曇野市	
		7/7	沢頭修自		25	ふるさと発見講座① ～木祖村130年の歴史を学ぶ～		村民センター	
		8/18	北川 聰、 柳川浩司		11	物づくり体験①～お六櫓作り～	2,000円	村民センター	
		9/29	奥原 修、 國中登志彦		17	ふるさと発見講座② ～木祖村130年の歴史を学ぶ②～		村内	
		11/19			10	県内研修②～東信小諸懐古園～		小諸市	
		12/18	林 愛子		10	物づくり体験② ～クリスマスアート作り～		村民センター	
		12/21	清水 勝		中止	物づくり体験③ ～しめ飾り作り～		村民センター	講師体調不良に より中止
		2/20	高木 利子		中止	物づくり体験④～松本てまり～		松本市	会場改修工事に より中止
		3/27			中止	ふるさと発見講座③ ～お宝マップ作り～		村民センター	コロナにより中止
ミニ盆栽教室		6/16, 7/6, 8/25, 9/23, 10/14	中村今朝男	村内一般	6	自分だけのミニ盆栽を制作		村民センター	定員10名
ユリ作り教室		7/6, 9/13	翁像行夫	村内一般	15	根付から切り取りまで挑戦		翁像氏ビニール ハウス	全2回
手話入門講座		7/20, 28, 8/4	柳川悦子	村内一般	14	簡単な手話を学ぼう		村民センター	全3回
陶芸教室	趣味	5/23, 6/21, 7/5, 23, 25, 29	高木 勇	村内一般	17	自分の想いの作品を作ろう		小学校図工室	全11回
こめ作り体験 (田植え)	一般	5/19	青木恭一、永瀬健弘、 青木美喜、清水秀明	村内一般	40	田植え		小木曾	すくすく倶楽部 共催
こめ作り体験 (稲刈)	一般	10/6	青木恭一、永瀬健弘、 清水秀明	村内一般	40	稲刈り、はぜ掛け		小木曾	すくすく倶楽部 共催
こめ作り体験 (脱穀)	一般	10/20	青木恭一、永瀬健弘、 青木美喜	村内一般	40	脱穀		小木曾	すくすく倶楽部 共催
こめ作り体験 (餅つき)	一般	12/1		村内一般	40	餅つき体験・試食		村民センター	すくすく倶楽部 共催
英会話教室	趣味	6/13, 20, 27, 7/4, 11	ALT	村内一般	14	英語に触れてみる		笑ん館	全5回
地域図書館講座	一般	6/1	高橋真理子	小学生と保護者	120	キャリングプラネタリウム		小学校体育館	すくすく倶楽部 共催
	一般	6/1	高橋真理子	村内一般	30	キャリングプラネタリウム		小学校体育館	
村めぐり健康 ウォーキング	一般	6/14	柳川浩司	村内一般	10	村内各所を歩いて心身の健康づくり		水木沢天然林	NPO法人と共催

令和元年度 木祖村教育委員会・公民館学級講座等開催台帳(社会体育)

講座名	区分	開催日	講師	対象者	参加人数等	内容	参加費	会場	備考
すくすく倶楽部	体育他	4月～3月	辺見元孝	小学生	105名(登録数)	学校体育の延長としての運動教室及び体験事業等	500	小学校体育館他	別紙参照
シェイプアップ教室	健康	5月～7月	辺見元孝	村民一般	29名	効率の良い運動で脂肪の燃焼を目指す	1,500	社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
体カアップ教室	健康	9月～11月	辺見元孝	村民一般	21名	個人の能力に応じた運動により体力増進		社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
エアロビ教室	健康	5月～9月	平井峰子	村民一般	28名	エアロビクス		小学校体育館	10回開催 源流スポーツ大学
ヨガ教室	健康	5月～9月	武井有佳子	村民一般	20名	ストレッチヨガ		社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
水中運動教室	健康	5月～12月		村民一般	16名	水中運動	600/1回	木曾町温水プール	20回開催 源流スポーツ大学
トレーニングジム体験&インボディー測定	健康	5月・10月		村民一般	2名	筋力測定・ストレッチ体験・トレーニングジム体験		木曾町トレーニングジム	2回開催 源流スポーツ大学
社会体育館開放	健康	12月～3月		村民一般		冬季ウォーキング用に社会体育館開放		社会体育館	源流スポーツ大学
源流TC	体育	通年	教育委員会	小4～6年 中学生	34名 5名	陸上大会及び体カアップをめざした練習		小学校校庭 小学校体育館	
第17回ソフトバレーリーグ戦(第1節)	体育	5月～7月		村民一般	6チーム	総当たり戦	1チーム 500	社会体育館	
第17回ソフトバレーリーグ戦(第2節)	体育	8月～11月		村民一般	6チーム	総当たり戦		社会体育館	
村民体育祭ソフトバレー	体育	10月16日		村民一般	6チーム			社会体育館	
村民体育祭村民登山	体育	9月10日		村民一般	17名			御嶽山	
村民体育祭ハイキング	体育他	10月19日		村民一般		吉田～菅地区～大平あやめ公園池		雨天中止	
村民体育祭ゴルフ	体育	10月27日		村民一般	40名			木曾カントリー	
第61回木曾川源流村内一周駅伝大会	体育	11月3日		村民一般	一部 29チーム 二部 2チーム	村内一周を繋ぐ、伝統の駅伝大会		村内一円	
村民体育祭フットサル	体育	12月7日		村民一般		総当たり戦		社会体育館	

○令和元年度 木祖村教育委員会・公民館学級講座(すくすく倶楽部)

すく〜る・スキー

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	4月27日(土)	すく〜る(全学年)①	小学校体育館	学校体育授業の補助として開催しました。	33	1
2	5月11日(土)	すく〜る(全学年)②	木祖村社会体育館	〃	40	2
3	6月22日(土)	すく〜る(全学年)③	木祖村社会体育館	〃	43	2
4	8月10日(土)	すく〜る(全学年)④	小学校プール	〃	31	0
5	8月17日(土)	すく〜る(全学年)⑤	小学校プール	〃	10	0
6	8月31日(土)	すく〜る(全学年)⑥	小学校体育館	〃	21	1
7	9月7日(土)	すく〜る(全学年)⑦	小学校体育館	〃	12	1
8	9月29日(日)	すく〜る(全学年)⑧	小学校体育館	〃	9	1
9	10月5日(土)	すく〜る(全学年)⑨	小学校体育館	〃	24	0
10	1月18日(土)	スキー教室 (低学年)	やぶはら高原スキー場	レベル別に別れて、スキー教室を開催しました。	23	0
11	1月25日(土)				20	0
12	2月1日(土)				17	0
					283	8

物づくり体験

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	6月2日(日)	絵画教室 低学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しました。	19	0
2	6月9日(日)	絵画教室 高学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しました。	26	2
3	6月29日(土)	サンドブラスト体験 (午前低学年・午後高学年)	村民センター	グラス等にオリジナルの模様をつけました。	66	5
4	11月9日(土)	クッキング① (1・3・5年生対象)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦しました。	10	1
5	11月16日(土)	クッキング② (2・4・6年生対象)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦しました。	12	0
6	2月22日(土)	閉講式&ケーキづくり	村民センター	閉講式&ケーキづくり&お楽しみ会を開催しました。	57	3
					190	11

野外活動・体験

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	4月20日(土)	開講式・レクリエーションゲーム	社会体育館	開講式と、レクリエーションゲームを行ないました。	56	3
2	5月19日(日)	田植え体験	小木曽地区	田植え体験をしました。	45	0
3	5月25日(土)	ウォークラリー	水木沢	水木沢天然林内をクイズに答えながら散策しました。	50	0
4	6月1日(土)	プラネタリウム	小学校	エアドーム/シアターのプラネタリウムで星の勉強をしました。	59	3
5	6月8日(土)	釣り教室	こだまの森	こだまの森の溪流釣り場で釣り体験をしました。	23	0
6	7月21日(日)	川遊び(PTA共催)			雨天により中止	
7	7月30日(火)	デイキャンプアウトドア体験 (高学年対象)	こだまの森等	名古屋市の子どもたちと交流しながらアウトドアクッキング・星空観察などを行いました。	26	1
8	8月4日(日)	カヌー体験(PTA共催)	奥木曽湖	奥木曽湖でカヌーに乗ります。水遊びをしました。	54	4
9	10月6日(日)	稲刈り体験	小木曽地区	稲刈り体験をしました。	34	0
10	10月20日(日)	脱穀体験	小木曽地区	脱穀体験をしました。	18	0
11	10月26日(土)	村民ハイキング			雨天により中止	
12	12月1日(日)	餅つき体験	村民センター	自分で作ったお米でお餅をついて食べました。	54	3
13	2月8日(土)	スノーシュー体験			雪不足により中止	